



2012年5月21日。173年振りに東京で見ることのできる金環日食。三日野の校庭で、多くの皆さんと一緒に、世紀の天体ショーを体験しました。

金環日食観察会（5月21日）



曇りという天気予報でしたが、当日は薄曇りの中から太陽の形が見える絶好の天気。目を傷めないように専用のグラスを使っての観察です。少し暗くなり、気温も下がりはじめた7時30分過ぎ、月が太陽の正面に入ると見事なリング=金環の完成。その瞬間、校庭からは歓声があがりました。



日食の前々日の5/19には、「池田山博士」による事前講習会が行われました。図や動画、模型を使って日食が起こる仕組みを説明し、また直接眼で見てはいけないという注意などが行われました。

《編集後記》 早朝の観察会にもかかわらず、大勢の児童・保護者の皆様にお集まり頂きました。自宅からでも見ることのできる天体ショーですが、大勢で集まって一緒に見るという体験は、三日野の子供たちにとって大きな思い出となったと思います。（文責：清水（昇））